

# 報道資料

発表年月日 令和8年3月18日(水)  
担当部署名 福祉保険部医療政策局疾病対策課  
担当者 市川・小池  
連絡先 0742-27-8612 (内線 62312)

## 結核の集団感染の発生について

中和保健所管内の高齢者施設等において、結核の集団感染事例が確認されましたのでお知らせします。

現在、発病者及び感染者は、医療機関等で適切な検査及び治療を受けており、当該施設等では感染拡大防止策が講じられています。

**本情報は、県民の皆さまへの結核に関する啓発を目的として提供するものです。報道に際しては、患者のプライバシー保護及び施設等への風評被害防止に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。**

### 1 発生の概要

- 中和保健所管内の高齢者施設に入所する 80 歳代女性が、令和8年1月、痰、発熱、呼吸状態の悪化により近隣医療機関へ入院。その後の喀痰検査にて結核菌が検出され、肺結核との診断を受け、1月 19 日に中和保健所へ届出がありました。
- 届出を受け、中和保健所が積極的疫学調査及び接触者健診を実施したところ、現時点で、接触者健診の対象者77人のうち、発病者2人、感染者10人が確認されました。保健所では引き続き接触者健診の結果の把握に努めています。
  - ※発病者:結核菌に感染し、症状がある者
  - ※感染者:結核菌に感染はしているが、発病には至っていない者
- 本事例は、厚生労働省が定める「結核集団感染事例の定義」に該当したため、厚生労働省に報告をしました。
  - ※定義:同一の感染源が2家族以上にまたがり、20 人以上に結核を感染させた場合。発病者1人を6人の感染者として換算。

### 2 現在の対応状況

- 発病者及び感染者は、すでに適切な治療を受けており、他者に感染させるおそれはありません。
- 保健所において、継続的に経過観察及び服薬支援を実施しています。

### 3 県民の皆さまへ(注意喚起)

- 結核は現在も国内で毎年 10,000 人以上の患者が新たに発生し、1,400 人以上が亡くなっています。
- 奈良県では 2024 年に 108 人の患者が新たに発生しています。
- 結核は、肺結核患者の咳やくしゃみに含まれる飛沫核を吸い込むことによる空気感染が、主な感染経路です。結核菌は紫外線に弱く、日光に当たると数時間で死滅します。
- 現在、結核患者の約 6 割を 70 歳以上が占めています。これは、過去に結核がまん延していた時期に感染し、若い頃は免疫力により発症が抑えられていたものが、加齢や病気などによる免疫力の低下によって発症するためです。
- 結核の初期症状は、風邪に似ており、せき、痰、発熱(微熱)の症状が長く続くことが特徴で、体重減少、食欲低下、寝汗をかく等の症状がみられることがあります。高齢者では症状が目立ちにくいことがあります。
- 2週間以上、せき、痰、微熱が続く場合は、早めに医療機関を受診してください。他人への感染を防ぐため、早期発見、早期治療が重要です。
- 年1回の胸部エックス線検査を受けましょう。(65 歳以上は受診義務)
- 結核は、医師の指示どおり服薬をきちんとすれば治る病気です。

詳細については、以下をご確認ください。

・厚生労働省ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou03/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou03/index.html)

・奈良県ホームページ

<https://www.pref.nara.lg.jp/n085/5081.html>

### 4 報道機関の皆さまへのお願い

本件は県民の皆さまへの啓発のために提供するものです。報道にあたっては、個人が特定される情報、施設名等、風評被害につながる情報については、プライバシー保護の観点から取扱いに十分ご配慮ください。

#### 【結核の新規登録患者数】

(人)

年	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
奈良県	133 (10.0)	121 (9.2)	122 (9.3)	140 (10.8)	108 (8.4)
全国	12,739 (10.1)	11,519 (9.2)	10,235 (8.2)	10,096 (8.1)	10,051 (8.1)

※下段( )人口 10 万人あたりの罹患率